

# アルコール・依存症対策ワーキンググループ キックオフミーティングへのお誘い

ご存知でしたか？

日本に109万人いると推計されているアルコール依存症者はわずか4万人しか専門治療につながっておらず、病者の平均寿命は52歳と極端に短く、そのTreatment Gap が大きな問題となっています。(一方で統合失調症者は約100万人のうち80万人余が治療中と推計されています)

最新の推計では70万人と報告されているギャンブル依存症に至っては治療施設が80カ所未満(2014年厚労省科研報告書より)なのが日本の現状です。

こうした状況を何とか変えていこうと、日本総合病院精神医学会(JSGHP)において「アルコール・依存症対策ワーキンググループ」が立ち上がることになりました。

ワーキンググループは、

「アルコール使用障害の早期介入にむけて、総合病院勤務の精神科医・スタッフも積極的に依存症治療に参入して行きましょう。内科・救急部などとの総合病院ならではの連携を用いて、より多くの患者さんを依存症治療に導入していきましょう」「薬物依存症・ギャンブル依存症についても考えていきましょう」という試みです。

しかし、総合病院内で依存症治療を行なうことには数々のハードルもあり、今回全国的に有志を募って大きな連携の輪を作っていくことになりました。

つきましては、日本総合病院精神医学会(JSGHP)総会が開催されます富山にて、総会会期中に下記の日時・場所でキックオフミーティングを開催します。

依存症治療に関心のある方により多くお集まり頂いて、今後の情報共有と連携の輪ができればと考えております。

**名称:「アルコール・依存症対策ワーキンググループ」キックオフミーティング**

**場所: 富山県民会館7階 705会議室**

**日時: 2017年11月18日(土曜) 11時~12時**

同学会に参加される方、また参加されないまでも興味を持っていただける方は、ぜひともご連絡いただけますと幸いです。

連絡先: 手稲溪仁会病院 精神保健科部長 白坂知彦  
[shirasaka.t@gmail.com](mailto:shirasaka.t@gmail.com)

世話人: 沖縄協同病院 リエゾンセンター/心療科部長代行 小松知己

アイ・クリニック 院長(30th.JSGHP副大会長) 吉本博昭

WG担当理事: 市立豊中病院 精神科部長 宮川真一

